



1 補助事業の概要

(1) 事業目的及び実施内容

各作業員の行動を管理・把握し、工事現場のDXを加速させる

(2) 開発した製品・サービスの概要

作業員の安全確保のため、工事工具の適正使用状況を把握し、不適切の場合は使用者および管理者に通知し、さらに、各人員の作業場所・状況を把握し、作業効率・配置・工程を効率的に管理する。

(3) 5Gの活用ポイント

大規模工事現場での多人数大量データ通信に対応するため、および、異常情報の低遅延配信を行うため。

2 今後の事業化に向けた取り組みについて（事業化スケジュールや活動方針等）

今回は、工事現場で実働可能なプロトモデルの開発を行った。現場でのテスト動作を積み重ね、製品化に向けての問題点や改良点を洗い出し、次は商品開発に進む予定。新基準のフルハーネスの更新時期が来る、2024 年末に向けて、耐久性評価・販路開拓を行い、早期上市を目指す。